

教育要覧

昭和 52 年度



萩市立図書館



110357928

萩市教育委員会

370

47



萩市民憲章



1. 美しい自然と 豊かな詩情のまち
萩をまもりましょう

1. 輝かしい歴史のうえに 新しい文化のまち
萩をつくりましょう

1. 明るい社会と のびゆく産業のまち
萩をそだてましょう

TRC102095

表紙説明

旧厚狭毛利家萩屋敷長屋代表的な武家屋敷で、全長51.5m
出格子5ヶ所、格子窓6ヶ所ある瓦ぶきの建物で国の重要
文化財。

目次

I 萩市教育の基本方針	1
1. 萩市教育の基本方針	1
2. 昭和52年度の重点施策	1
II 教育行財政	2
1. 教育委員会の機構	2
(1) 教育委員	2
2. 萩市教育委員会事務局	2
(1) 所在地	2
(2) 事務局の組織・事務分掌	2
(3) 教育機関の所在地・事務分掌	2
(4) 職員	3
3. 教育財政	3
(1) 昭和52年度教育予算の概要	3
(2) 一般会計予算と教育費の割合	3
(3) 昭和52年度教育費内訳	4
III 学校教育	5
1. 基本方針	5
2. 昭和52年度の重点目標	5
3. 教育指導	6
(1) 昭和52年度萩市小・中学校研究主題	6
(2) 昭和52年度研究指定校・協力校・実験研究校	7
(3) 特殊教育	8
(4) 学校同和教育推進計画	9
4. 教職員・生徒	10
(1) 小・中学校教職員・生徒一覧	10
(2) 児童・生徒の推移	12
5. 学校保健・給食	13
(1) 学校保健	13
(2) 学校給食	14
6. 就学援助	15
7. 学校寄宿舎	15
8. その他	16

IV 社会教育	17
1. 基本方針	17
2. 昭和52年度の重点目標	17
3. 各種委員会	18
4. 社会教育関係団体	18
5. 学級・教室・講座	19
6. 芸術・文化活動	19
(1) 文化活動	19
(2) 社会教育施設	20
1. 公民館	20
2. 図書館	21
3. 郷土博物館	23
4. 松陰遺墨展示館	25
(3) 文化施設	25
(4) 文化財保護	26
7. 社会体育	28
8. 社会同和教育	28
V 資料	30
1. 学校教育施設	30
(1) 市立学校	30
(2) 県立学校	31
(3) 私立学校	31
(4) 学校寄宿舎	32
(5) 教員住宅	32
2. 社会教育施設	33
3. 社会体育施設	34
4. 文化施設	34
5. 指定文化財一覧	35
VI 学校位置図	

I 萩市教育の基本方針

1. 萩市教育の基本方針

近代科学技術の進歩とそれに伴う経済の飛躍的發展、更に社会構造の著しい変革など好むと好まざるとにかかわらず、この変動社会に対処していく方策が立てられなければならない。

しかし、教育はただ単に社会の変化についていくといった皮相的なものではなく、正しく歴史を見透した上で教育の内容を深め、普遍的な真理を探究しつつ、動中静なるものを継続的に伝えんとする営みでなくてはならない。その意味において教育活動は、教育実践、教育研究、教育行政などを含んだ広範な領域において、これらが一体の形に密着して相互補完の関係に進められなければならない。

○豊かな人間性を根底とした、よりよき市民育成をめざし、生涯教育の観点から学校教育・社会教育を推進する。

○健全な教育観のもとに、具体的な実施計画をたて、着実に効率的な実践をする。

○教育条件の整備改善のため、施設・設備の充実と研究活動の促進を図る。

2. 昭和52年度重点施策

(1) 児童生徒ひとりひとりの能力適性を伸ばし、自主性とたくましい実践力を育成する。

- ・ 学校運営管理の合理化
- ・ 教育課程の効率的な編成と実施
- ・ 教職員研修の深化・発展
- ・ 学習指導の充実
- ・ 生徒指導・進路指導の徹底
- ・ 同和教育の強力な推進

(2) 心身ともに健全な近代市民を育成し、住みよいまちづくりにつとめる。

- ・ 社会教育関係団体の育成強化
- ・ 文化財保存整備と愛護
- ・ 同和教育の強力な推進

(3) 運営を合理化し、効果的に教育環境を整備することにより、教育情勢の確立を図る。

- ・ 設備・備品の整備と適正な管理
- ・ 経費の節約と負担区分の明確化

II 教育行政

1. 教育委員会の機構

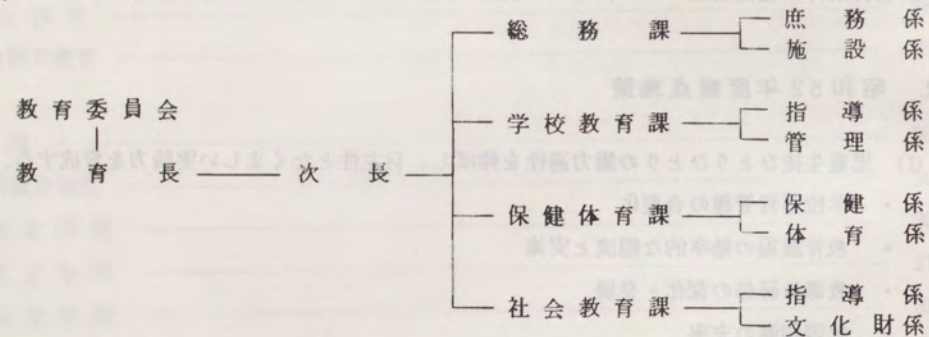
(1) 教育委員

役名	氏名	年齢	職業	学歴	就任年月
委員長	浮里 淳也	58	僧侶	旧大卒	48.10
同職務代理	山根 熊蔵	71	無職	旧高专卒	49.10
委員	佐伯 信夫	63	無職	旧師範卒	50.10
委員	奥野 正治	51	薬局	旧専門卒	51.10
教育長	井町 新熊	60		旧師範卒	51.10

2. 教育委員会事務局・教育機関

(1) 所在地 萩市大字江向510番地 ㊦758

(2) 事務局の組織・事務分掌



(3) 教育機関の所在地

中央公民館	萩市大字江向	495番地の4
三見公民館	萩市三見	2,393番地
大井公民館	萩市大井	1,404番地
大島公民館	萩市大島	290番地
見島公民館	萩市見島	251番地
郷土博物館	萩市大字江向	525番地の4
図書館	萩市大字江向	552番地の2
松陰遺墨展示館	萩市大字椿東	1,538番地の4
市民館	萩市大字江向	495番地の4
学校寄宿舎	萩市大字浜崎町	21番地
小学校(11校)	うち小・中併置校	2校
中学校(10校)		

(4) 職員

総数	市職員		県費職員	
	事務職員	給食ほか職員	事務職員等	教員
448	53	51	13	331

3. 教育財政

(1) 昭和52年度教育予算の概要

昭和52年度教育予算の総額は、7億7,182万7千円で前年に比べ1億2,479万円の減額で一般会計予算の中に占める割合は12.8%である。減額の主なものは椿東小学校の全面改築が51年度で完了したためである。主な事業は次期計画として、越ヶ浜小学校校舎の改築を控え、国の有利な補助事業として建設するために、52年度は必要な諸調査の実施と基礎工事としてのボーリング施行を実施する。次に懸案の白水小学校のプール(25m5コース)並びに相島小、中学校の教員住宅(1棟2戸建)の補助事業を進めるほか、一中屋内運動場階下に柔、剣道場を新設する。

施設管理面では、学校無人化に伴う管理対策として、52年度から明倫小学校及び離島、へき地校を除く市内12校の小・中学校を始め博物館、図書館を機械警備による防犯、防火の警備体制の強化に努める。

社会教育関係においては、学習意欲に即応した各種学級講座及び教室等を開設してその普及をはかる一方、青少年団体、婦人会、グループ等の関係団体の育成に努める。

また、社会体育についても、昨年に引続き「地域スポーツクラブ育成指定市町村設置事業」に取り組み、積極的に学校体育施設の開放を進めるとともに、屋外運動場開放施策として、明倫小学校に夜間照明施設を整備する計画である。

次に文化財関係については、重要伝統的建造物群保存地域の第二年次の事業の推進に努める外道路測溝から10mの範囲内、固定資産税の減免措置をすること等新しい制度として取り上げておる。

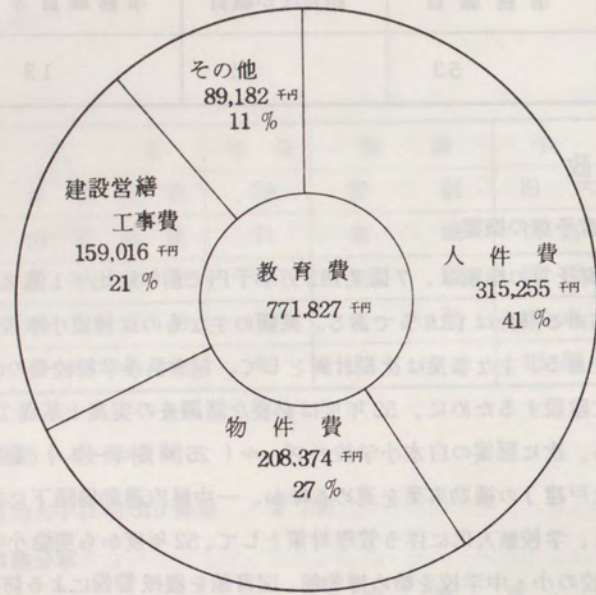
なお、重要文化財の保存修理については、口羽家主屋の解体修理、菊屋家の調査、仮設工事を予定している。

(2) 一般会計予算と教育費の割合

	昭和48年度	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度
一般会計(A)	3,051,000 ^{千円}	4,106,000 ^{千円}	4,878,800 ^{千円}	5,417,000 ^{千円}	6,040,000 ^{千円}
教育費(B)	569,349	481,073	797,733	896,617	771,827
比率 $\frac{B}{A}$	18.7%	11.7%	16.4%	16.6%	12.8%

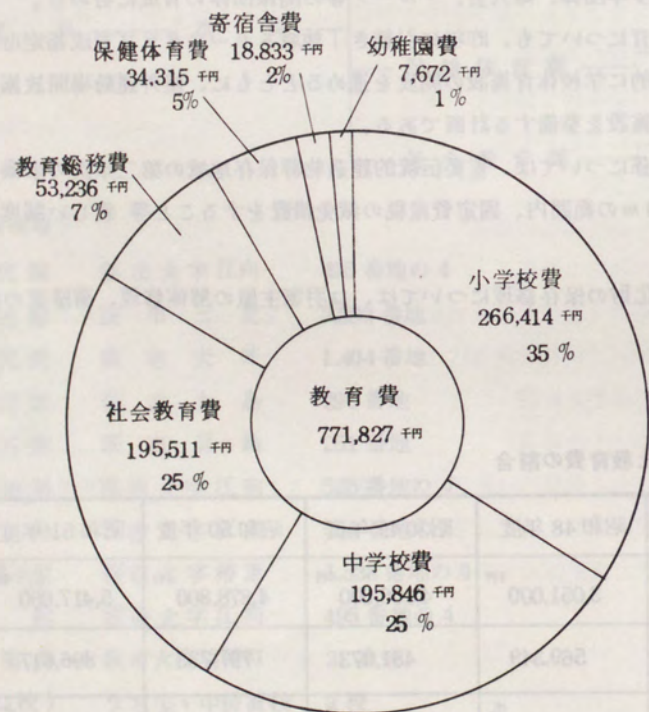
(3) 昭和52年度教育費内訳

教育費性質別内訳	
人件費	315,255千円
物件費	208,374千円
建設営繕工事費	159,016千円
その他	89,182千円
教育費	771,827千円



教育費目的別内訳

教育費目的別内訳	
小学校費	266,414千円
中学校費	195,846千円
社会教育費	195,511千円
教育総務費	53,236千円
保健体育費	34,315千円
寄宿舍費	18,833千円
幼稚園費	7,672千円
教育費	771,827千円



Ⅲ 学 校 教 育

1. 萩市学校教育の基本方針

教育尊重の伝統は、萩市の誇りである。

萩市の学校教育は、藩学明倫館の「成徳達材」や松下村塾の「師弟同行」の精神を継ぎ、さらに新しい教育の創造に努め、力強い躍進をめざす。

ここに、県の学校教育指導上の努力点を基盤として、萩市における努力点を明確にし、その実現に努める。

2. 昭和52年度の重点目標

児童生徒ひとりひとりの能力・適性を伸ばす指導の徹底を期す。

- (1) 人格的触れ合いの機会を多くし、つねに児童生徒の実態を知り、願いをうけとめる。
- (2) ねらいを的確には握し、わかりやすい授業の展開をくふうする。
- (3) 児童生徒の発想を大切にし、学び方の育成につとめる。
- (4) 作業をたいせつにし、働く喜びを味あわせ、たくましい実践力を育てる。
- (5) 調和のとれた体力と旺盛な気力の育成につとめる。

3. 教育指導

(1) 昭和52年度萩市立小・中学校研究主題一覧

学 校 名	研 究 課 題	
小 学 校	明 倫	みずから進んで学習することをつくるにはどうすればよいか
	椿 東	ひとりひとりを大切に作る仲間づくり
	越ヶ浜	互いに認め合い、仲間と共にがんばりぬく子どもを育てる学級指導
	椿 西	自ら学び考える学習指導
	白 水	人間尊重を基盤とし、好ましい人間関係を育てるなかで、ひとりひとりの能力を開発するにはどうすればよいか
	木 間	ひとりひとりの個性を生かす合同学習のありかた
	三 見	ひとりひとりが意欲的に取り組む学級会活動
	大 井	児童みずからが意欲をもって取り組む算数学習
	大 島	たのしい学習と、きまり正しい生活をめざして —国語、算数を中心としながら—
	相 島	少人数学級における効果的な学習指導と評価の研究
	見 島	よろこんでとりくむ学習指導法の研究
	中 学 校	萩 第 一
明 経		生徒の努力目標を生かす学年・学級経営
指 月		わかる授業、おちこぼれない授業
越ヶ浜		資料「じんけん」を活用した同和教育の推進
木 間		豊かな心情とたくましい実践力を持つ生徒の育成 —個に即した自己開発を助ける学習指導—
三 見		自ら学びとる学習態度を育てる指導法の研究 1年次 学習態度の変容をめざす指導法
大 井		調和のとれた心身の育成をめざす指導
大 島		生徒の実態を的確に把握したわかりやすい授業の展開
学 校 寄 宿 舎	相 島	少人数学級における学習指導の研究 学習習慣の形成をめざして
	見 島	自ら計画実践し、伸びようとする生徒づくり —主体的にとりくむ生徒の育成—
	学 校 寄 宿 舎	ひとりひとりを生かす生徒指導

(2) 研究指定校・実験研究校

研 究 指 定 校				
学 校 名	指 定	年 度	領 域	研 究 課 題
白 水 小	市 教 委	52~53	学習指導	人間尊重を基盤とし、好ましい人間関係を育てるなかで、ひとりひとりの能力を開発するにはどうすればよいか。
三 見 中	市 教 委	52~53	学習指導	自ら学びとる学習態度を育てる指導法の研究
椿 東 小	市 教 委	52~53	同和教育	ひとりひとりを大切に作る仲間づくり
越ヶ浜小	市 教 委	52	同和教育	互いに認め合い、仲間と共にがんばりぬく子どもを育てる学級指導
萩 第 一 中	市 教 委	52~53	同和教育	人間尊重を基盤として、ひとりひとりを伸ばす学習指導
越ヶ浜中	市 教 委	52	同和教育	資料「じんけん」を活用した同和教育の推進

(3) 特殊教育

① 精神薄弱児学級

校 種	番 号	校 名	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数						担 任	備 考	
				1	2	3	4	5	6			計
小 学 校	1	明 倫	2	3	2	2	1	1	6	15	2	
	2	椿 東	1	2	1	1	1	0	2	7	1	
	3	椿 西	1	1	1	1	2	1	0	6	1	
	4	白 水	1	0	0	0	0	0	2	2	1	
	5	大 島	1	1	0	1	0	0	0	2	1	
		計	6	7	4	5	4	2	10	32	6	
中 学 校	1	明 経	1	0	2	0				2	1	
	2	指 月	1	1	2	0				3	1	
		計	2	1	4	0				5	2	
合 計			8	8	8	5	4	2	10	37	8	

② 肢体不自由児学級

校種	番号	校名	学級数	児童・生徒数							担任	備考
				1	2	3	4	5	6	計		
小学校	1	明倫	1	1	0	2	0	0	1	4	2	
	2	椿西	1	0	2	1	2	1	0	6	1	
	計		2	1	2	3	2	1	1	10	3	
中	1	明経	1	3	2	2	0	0	0	7	2	

③ 情緒障害児学級

校種	番号	校名	学級数	児童数							担任	備考
				1	2	3	4	5	6	計		
小	1	椿西	1	1	1	0	1	2	2	7	2	

④ 言語治療教室

利用者数	内容別	萩市立明倫小学校 ことばの教室									
		地教委別		旭村	川上村	福栄村	阿武町	須佐町	田万川町	その他	合計
		萩市明倫小	明倫外								
	教育相談	1 ⁽²⁾	13 ⁽³⁶⁾	0 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁶⁾	0 ⁽⁰⁾	1 ⁽¹⁾	3 ⁽³⁾	2 ⁽³⁾	2	23 ⁽⁵³⁾
	通級	10	7 ⁽²⁾	0	1 ⁽¹⁾	0	0	0	2 ⁽¹⁾		20 ⁽⁴⁾
	修了	2	2	0	1	0	0	0	0	0	5
	退級・転出	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

(昭和52年3月末日まで)

※ 教育相談者の()は延人数を表わす。

※ 通級者の()は幼児の数を表わす。

(4) 学校同和教育推進計画

1. 基本方針

同和対策審議会の答申の精神に基づき、人類普遍の原理である自由と平等にかかわる基本的人権の確立をめざし、教職員の同和問題に対する正しい認識を深めて同和教育観の確立を図り、差別をしない、差別を許さない児童・生徒の育成に努める。

2. 努力事項

(1) 同和問題の正しい認識と共通理解による、全教職員の同和教育観の確立と指導体制の強化

ア 同和対策審議会答申、山口県同和教育方針の共通理解。

イ 校内推進計画、組織の確立

(2) 同和教育全体計画、年間指導計画の充実と実践。

ア 同和教育年間指導計画に基づく実践とその改善。

イ 同和教育資料の精選と活用。

(3) 学校と家庭および地域との連携による同和教育の推進。

ア 保護者の理解と協力を得る場の設定。

イ 地域の関係諸機関との連携の強化。

(4) 進学奨励費制度等の趣旨を生かした、個に即した進路の指導。

ア 個に即した学業指導や進路指導の強化。

イ 進学奨励費制度等の趣旨の理解と、保護者との連携。

3. 同和教育推進事業計画

第1学期

(1) 推進計画の説明(同和教育主任会等)

(2) 同和教育研究委員会の開催(5月以降毎月)

(3) 第1回同和教育研究協議会の開催

第2学期

(1) 同和教育主任会の開催(推進上の諸問題について協議)

(2) 第2回同和教育研究協議会の開催

(3) 保護者同和教育研修会(各学校、とくに中学校は2年生の保護者を対象とする)

(4) 研究指定校訪問

第3学期

(1) 同和教育研究集録の作成

(2) 同和教育主任会の開催(実践の反省)

4. 本年度市教委の研究指定校

学校名	校長氏名	同和教育主任	研究主題
椿東小	古川正次	宇田川憲吾	ひとりひとりをたいせつにする仲間づくり
越ヶ浜小	森重良雄	河内山恵美子	たがいに認め合い、なかまとともにがんばりぬく子どもを育てる学級指導
萩第一中	中村道吾	渡辺素彦	人権尊重を基盤として、ひとりひとりを伸ばす学習指導
越ヶ浜中	伊藤重次	嶋田利夫	資料「じんけん」の活用を中心とした同和教育の推進

5. 同和教育指導資料等の刊行

年度	資料名	類別	発行部数	配付対象
44	同和教育参考資料	資料集(主として歴史)	350部	市内全教員
44	同和教育副読本「なかよし」指導事例集	資料集	70部	市内各校
45	県基本方針・重点施策等	資料集	350部	市内全教員
46	同和教育実践の手びき	資料集	350部	市内全教員
47	同和教育顕現の指導内容の指導事例集	資料集	350部	市内全教員
47	同和教育読本指導事例集(第二集)	資料集	50部	市内各校
48	同和教育計画および指導事例集(第三集)	資料集	50部	市内各校
49	同和教育計画(第四集)	資料集	150部	市内各校
50	同和教育年間指導計画(第五集)	資料集	120部	市内各校
51	同和教育指導事例集(第六集)	資料集	120部	市内各校

4. 教職員・生徒

(1) 小・中学校教職員・生徒一覧

校種別	番号	学校名	所在地	校長名	教頭名	児童・生徒数			学
						普通	特殊	計	普通
小 学 校	1	明倫	江向	上田重治	横山 繁	1,742	25	1,767	42
	2	椿東	椿東	古川正次	高田正信	845	7	852	22
	3	越ヶ浜	越ヶ浜	森重良雄	宮崎 学	458	0	458	12
	4	椿西	濁淵	市原 弥	伏谷晏生	183	19	202	6
	5	白水	山田	末永 明	内田 清	448	2	450	12
	6	木間	木間	師井 ミドリ子	佐々木 正実	11	0	11	3
	7	三見	三見	安光博良	河村哲郎	220	0	220	6
	8	大井	大井	宮内松男	山川 淳美	299	0	299	11
	9	大島	大島	吹上 泰一	松井 勝太郎	123	2	125	6
	10	相島	相島	中原 光	大枝 勉	46	0	46	4
	11	見島	見島	井上吉良	河上 浩	243	0	243	6
計						4,618	55	4,673	130
中 学 校	1	萩第一	土原	中村道吾	守重哲直	969	0	969	23
	2	明経	土原	室田 実	鈴木義蔵	258	9	267	7
	3	指月	堀内	岡 英夫	中村正紀	447	3	450	12
	4	越ヶ浜	越ヶ浜	伊藤重治	滝 得一	198	0	198	6
	5	木間	木間	(兼)師井 ミドリ子	中村 弥一	13	0	13	3
	6	三見	三見	品川 潔	天川政春	115	0	115	3
	7	大井	大井	山本 巖	田中 隆	167	0	167	6
	8	大島	大島	中原 幹雄	阿武正義	85	0	85	3
	9	相島	相島	(兼)中原 光	神野文介	33	0	33	3
	10	見島	見島	山谷 馨作	須郷 覚	122	0	122	5
計						2,407	12	2,419	71
合 計						7,025	67	7,092	201

級数	教職員(県費)					職員(市費)				備考
	特殊	計	校長 教頭 教員	養護 栄養 	事務	計	事務 養護	給食	その他	
4	46	55	2	2	59	4	8		12	
1	23	27	1	1	29	1	4		5	
	12	15	1	1	17		2		2	
3	9	13	1	1	15		2		2	
1	13	17	1	1	19		3		3	
	3	5			5	1	1		2	へき地1級
	6	8	1	1	10		2		2	
	11	14	1	1	16		3		3	
1	7	9			9	1	2		3	へき地1級
	4	6			6		1		1	へき地3級
	6	8	1		9	1	2		3	へき地3級
10	140	177	9	8	194	8	30		38	
	23	38	2	1	41	3	5	1	9	
2	9	18	1	1	20	1	3		4	
1	13	22	1	1	24	1	3		4	
	6	11		1	12		2		2	
	3	5			5					へき地1級 校長兼務
	3	8			8	1	2		3	
	6	11	1	1	13		2		2	
	3	8	1		9	1	1		2	へき地1級
	3	7	1		8					へき地3級 校長兼務
	5	10			10	1	1		3	へき地3級
3	74	138	7	5	150	8	20	1	29	
13	214	315	16	13	344	16	50	1	67	

(2) 児童・生徒の推移

小学校

各年度5月1日現在 53年以降推計

学校	年度	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57
明倫		1,891	1,809	1,785	1,840	1,770	1,767	1,799	1,878	1,878	1,869	1,890
椿東		691	724	754	804	845	852	859	897	876	859	870
越ヶ浜		405	411	419	422	465	458	444	457	463	447	446
椿西		223	208	209	204	201	202	194	203	202	197	214
白水		411	404	406	421	428	450	461	489	482	460	450
木間		26	22	16	14	13	11	14	19	22	20	19
三見		247	231	223	222	214	220	220	225	214	197	186
大井		321	309	306	300	305	299	294	300	308	282	261
大島		181	165	160	155	135	125	121	109	105	96	102
相島		62	62	52	57	55	46	46	46	47	41	37
見島		275	276	260	275	256	243	246	251	258	253	239
合計		4,733	4,621	4,590	4,714	4,687	4,673	4,698	4,874	4,855	4,721	4,714

中学校

学校	年度	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57
萩第一		950	924	909	866	926	969	951	891	874	926	970
明経		339	336	332	312	300	267	277	252	269	275	287
指月		424	439	439	452	451	450	426	401	410	446	467
越ヶ浜		164	182	180	191	186	198	220	228	232	240	238
木間		25	19	21	18	18	13	8	5	3	6	8
三見		157	156	130	136	127	115	105	95	102	109	118
大井		187	171	166	162	165	167	158	150	139	155	157
大島		116	122	113	102	82	85	76	75	68	69	60
相島		32	29	31	27	37	33	34	23	19	23	31
見島		160	137	130	122	128	122	136	125	119	120	126
合計		2,554	2,515	2,451	2,388	2,420	2,419	2,391	2,245	2,235	2,369	2,462

5. 学校保健・給食

(1) 学校保健

健康が教育の基盤であり、人間の幸福の必須条件であることは言をまたない。

児童、生徒がたくましい身体と強じんな精神をもつことが要請され、次代を担って立つ社会人としての体力の基礎づくりはきわめて重要な課題である。

従って学校体育、学校保健、学校給食を体系的に拡充し健康の保持増進に努める。

児童・生徒体位比較表

区分	年令 男女	6才			8才			10才		
		全国	山口県	萩市	全国	山口県	萩市	全国	山口県	萩市
身長 cm	男	115.3	114.5	114.4	126.5	125.5	125.2	136.8	136.0	137.8
	女	114.6	113.7	114.2	125.8	125.0	125.0	138.0	137.4	138.0
体重 kg	男	20.6	20.1	20.6	25.8	25.1	25.5	32.0	31.3	33.1
	女	20.1	19.7	20.1	25.3	24.8	25.5	32.4	31.9	32.0
胸囲 cm	男	57.3	57.1	57.5	61.8	61.3	61.9	66.6	66.2	67.2
	女	55.9	55.8	56.4	60.3	60.0	60.2	66.1	65.9	65.8

区分	年令 男女	12才			14才		
		全国	山口県	萩市	全国	山口県	萩市
身長 cm	男	148.9	147.9	146.5	162.4	161.6	162.6
	女	149.9	149.4	147.8	155.1	154.6	154.3
体重 kg	男	40.4	39.4	40.3	51.4	50.2	50.3
	女	41.9	41.2	40.3	48.9	48.3	49.1
胸囲 cm	男	71.9	71.6	71.9	79.4	79.0	79.4
	女	74.1	73.6	72.8	79.3	79.3	79.1

(2) 学校給食

○ 学校給食の普及充実

学校給食法の「学校給食の目標」に示す教育的意義に基づいて、児童・生徒にとって楽しく豊かな完全給食の普及充実を図るよう努める。

○ 学校給食への米飯導入

従来パンを中心として実施されてきたが、昭和51年2月学校給食法施行規則が一部改正され、米飯が明確に位置づけされた。

米飯導入は、食事内容の多様化を図り、栄養に配慮した米飯の正しい食習慣を身につけさせることが教育上有意義であるので、その普及を図るものとする。

実施にあたっては、学校給食関係法に示す完全給食として取り入れ画一的、強制的な実施は避け、学校の実状および条件整備等を勘案し、希望校には学校給食会より購入する精米、アルファ化米により既設の設備を利用し、自主的に実情に応じて実施するものとする。

(昭和52年度)

区分	学校数	給食人員	年間給食平均回数	給食延人員
小学校	11校	4,673人	180回	841,140人
中学校	10	2,419	180	435,420

区分	1人当り給食費月額	完全給食実施率	調理従事員数	備考
小学校	2,600円	100%	30人	
中学校	2,900	100	20	

6. 就学援助

要保護 準要保護児童 生徒数および支給額

援助費目	小学校		中学校		備考
	人数	1人当たり支給額	人数	1人当たり支給額	
学用品費 通学用品費	200人	7,970円	150人	13,700円	
新入学児童生徒 学用品費等	30	11,840	43	14,200	
修学旅行費	49	平均 7,500	66	平均 17,000	要保護加算 小 1,000円、中 2,000円
校外活動費	200	平均 850	120	平均 900	
給食費	200	平均 28,600	150	平均 31,900	
医療費	185	平均 1,356	135	平均 1,414	

通学費援助

対象	小学校	中学校
飯井地区から三見小・中学校へ通学するための汽車賃	実費の半額	実費の半額

7. 学校寄宿舎

離島中、檜島の児童生徒の学力向上をはかるため、明倫小、明経中に通学、学習させる施設、併せて離島出身高校生も収容している。

経営方針

- (1) 理解と愛情を根幹として、ひとりひとりの特性を伸ばすとともに、舎生活を通して、自主、責任、融和の精神を養い、併せて健康で豊かな人間性と、たくましい実践力の育成を図る。
- (2) 寄宿舎教育の適性な運営をはかるとともに相互の信頼と理解を深め、親代りとして、愛ときびしさをもって舎生に接する。

1. 出身地別人数

校別	檜島		大島		相島		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	計
小	2	3	0	0	0	0	2	3	5
中	0	3	0	0	0	0		3	3
高	2	0	1	23	1	4	4	27	31
計	4	6	1	23	1	4	6	33	39
	10		24		5				
世帯数	4		21		5		30		

8. そ の 他

○ 昭和51年度中学校卒業者の進路状況

昭和52年5月調

進路別	性別		計	
	男	女		
卒業者 総数	441	386	827	
進学者	高等学校	401	351	752
	高等専門学校	4	0	4
	計	405	351	756
各種学校・職業訓練校	13	7	20	
就業者	県内	12	8	20
	県外	11	17	28
	計	23	25	48
その他		3	3	

○ 資 料

		昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度
進学率	男	80.1	81.8	91.3	93.4	91.8
	女	84.2	86.1	91.5	91.1	90.9
	計	82.2	83.9	91.4	92.2	91.4
就職率	男	12.7	10.6	4.3	2.2	5.2
	女	11.7	11.3	5.9	1.4	6.5
	計	12.2	11.0	5.0	1.8	5.8
(県内就職率)計		43.1	38.7	43.9	53.3	41.7

Ⅳ 社 会 教 育

1. 基本方針

本市における社会教育の基本は、山口県教育委員会が示す社会教育の重点施策を基調とし、生涯教育の立場から急激に変化する社会に対応した心身ともに健全な市民を育成し、教育文化都市づくりにつとめる。

2. 昭和52年度の重点目標

(1) 社会教育推進態勢の強化

- ① 社会教育学級、教室講座および団体、グループ等の指導者の育成養成につとめる。
- ② 社会教育関係職員の積極的な研修につとめる。
- ③ 公民館施設・設備の充実と活用につとめる。
- ④ 公民館運営について相互連絡協力をはかる。
- ⑤ 社会教育機関、団体との相互連けいを密にし推進態勢の総合化をはかる。

(2) 文化財の保護活用

郷土の文化財を知り、その愛護と活用をはかるため、学級、団体、グループ等の学習活動を積極的に促進する。

(3) 社会同和教育の浸透・深化

- ① 社会同和教育推進態勢の強化をはかる。
- ② 市民に対する同和教育啓発活動の浸透をはかる。
- ③ 同和地区住民の自主的学習を促進する。

(4) 社会教育における学習活動の充実

- ① 生涯教育の立場から市民の学習要求を把握し、学習意欲の啓発をはかる。
- ② 社会教育学級、教室、講座および団体、グループ等における学習活動の充実をはかるため視聴覚教材等を積極的に利用し学習の効率化をはかる。

(5) 家庭教育の振興

- ① 乳幼児家庭教育学級の運営の効率化と学習活動の充実をはかる。
- ② 児童生徒家庭教育学級の運営の効率化と学習活動の充実をはかる。

(6) 青少年教育振興

- ① 少年団体(地域子ども会、BS、GS等)の育成と指導者養成を積極的に促進する。
- ② 青年団体、グループの育成と指導者の養成につとめる。

(7) 成人教育の振興

- ① 成人者の学習要求を把握し、学習意欲の啓発をはかる。
- ② 婦人の生活の変化に対応するため学習活動の充実をはかる。
- ③ 高令者教室を開設し、老年期にふさわしい学習活動を充実する。

(8) 社会教育関係団体の育成強化

社会教育関係団体の自主的運営の促進をはかる。

3. 各種委員会

委員会名	定数	担任する事項
社会教育委員会	10人	社会教育に関する諸計画の立案教育委員会の諮問に対する答申、研究調査を行なうこと。
公民館運営審議会	三見公民館 10人 大井 " 10人 大島 " 10人 見島 " 10人 中央 " 14人	館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議すること。
文化財審議会	10人	萩市の文化財について、教育委員会の諮問に応じ調査審議し、答申すること。
図書館協議会	10人	図書館の運営に関し、館長の諮問に応じ、審議し答申すること。

4. 社会教育関係団体

団体名	代表者氏名
萩市小学校PTA連合会	柏木弘義
萩市中学校PTA連合会	長谷忠仁
萩市連合婦人会	末永梅尾
萩市子ども会育成連絡協議会	松浦光雄
萩ユネスコ協会	佐伯一男
史都萩を愛する会	林良雄
萩の文化を高める会	都志見善親
萩芸能グループ連絡協議会	平田嘉男
萩をよくする会	井町浩祐
萩市青年サークル協議会	蛭川英次郎
萩市連合青年団	井町善満
萩スカウト協議会	西林直輝・小田義子

外に50数団体(昭和52年4月1日現在)

5. 学級・教室・講座

○ 本年度学級教室開設計画

学級、教室名	開設数	参加人員	開設場所	備考
家庭教育学級	6	240	中央公民館(3) 三見公民館(1) 大井公民館(1) 白水小学校(1)	補助事業 乳幼児家庭教育学級 (3) 小学校 " (1) 中学校 " (1) 文部省委嘱事業
婦人学級	21	730	三見、中央、大井、大島、見島	内補助事業対象5学級
高令者教室	4	200	中央、大井、大島、見島	内補助事業対象3教室
青年文化教室	5	150	中央、大井、大島、相島、見島	内補助事業対象1教室
保健栄養学級	1	45	中央	単市事業(保健所共催)
生活学校	1	60	中央	同上

6. 芸術・文化活動

(1) 文化活動

○ 文化月間行事

文化の日を中心に、市民が気軽に参加でき、日頃の成果の発表の場として各公民館で各種の行事を予定している。

○ 国・県行事の共催

県芸術祭、第9回山口県詩人大会

○ 杉道助文化奨励賞

文化活動を永年続けてきた人におくられる賞である。

昭和51年度の受賞者団体

柳橋 貞 工芸

伊東 進 工芸

萩川 柳会 文芸

○ 三輪休和芸術文化奨学金

芸術文化活動を専攻している学生におくられる賞である。

昭和51年度受給者 2名

② 社会教育施設

1 公民館

公民館は、地域住民にとって、地域の社会教育活動のセンターとして、また住民の身近かな茶の間として、気軽に学習や集会に利用されている。

とくに、教育機関としての公民館は市民のために各種の事業をとりあげ実施している。

中央公民館

領域	事業名	期間	対象	備考
総合文化	各種園芸展	各季節	全市	えびね、ばら、椿おもと、盆栽、菊花展
	萩市美術展	11月	"	
	萩市芸能祭	11月	"	
	レコードコンサート	毎月1回	"	
青少年教育	青年教室	4月～3月	勤労青少年	5コース開設
	青年のつどい	年2回	"	
	青年リーダー養成講習会	"	"	
婦人教育	婦人学級	4月～3月	婦人	地域婦人学級7学級開設
	婦人歴史講座	"	"	
	日本料理教室	"	"	
	中華料理教室	"	"	
	婦人リーダー養成講習会	年2回	"	
成人教育	郷土史研究講座	月2回	一般成人	
	孔版講習会	月1回	"	
	園芸講習会	随時	"	ばら、菊づくり、講習会
	読書会	月1回	"	昼、夜間、2部開設
	歩こう会	月1回	"	
	家庭教育学級	月3回	"	乳幼児、小中学校家庭教育学級
	高令者教室	月3回	"	陶芸、園芸、書道

三見公民館

事業名	期間	対象
婦人学級	4月～3月	婦人
高齢者教室	"	高齢者
家庭教育学級	"	乳幼児をもつ両親
各種スポーツ教室	"	婦人・少年
各種スポーツ大会	"	" "

大井公民館

事業名	期間	対象
婦人学級	4月～3月	婦人
高齢者教室	"	高齢者
家庭教育学級	"	乳幼児をもつ両親
青年教室	"	勤労青少年
各種スポーツ教室	"	少年、婦人、一般成人
各種スポーツ大会	"	"
各種展覧会	"	一般成人

大島公民館

事業名	期間	対象
婦人学級	4月～3月	婦人
高齢者教室	"	高齢者
青年教室	"	勤労青少年
各種スポーツ教室	"	婦人、少年
各種スポーツ大会	"	"

見島公民館

事業名	期間	対象
婦人学級	4月～3月	婦人
高齢者教室	"	高齢者
青年教室	"	勤労青少年
各種スポーツ教室	"	婦人、少年
各種スポーツ大会	"	"

2 図書館

昭和49年3月に閉館した山口県立萩図書館の資料全部の寄贈を受け昭和49年度から新しく市立図書館として発足した。

「市民に親しまれる図書館」「気軽に利用される図書館」「暮しに役立つ図書館」の目標を掲げて運営している。

昭和49年6月新築落成、同年9月26日開館

○施設

- ・ 一般閲覧室（ブラウジングコーナー、レファレンスコーナーを含む）
- ・ 子ども閲覧室
- ・ 第二閲覧室
- ・ 学生室
- ・ 集会室（30人用）
- ・ 視聴覚室（60人用）

○利用

- ・ 開館時間……午前9時30分から午後5時まで。ただし日曜日は正午まで。
- ・ 休館日……月曜日、国民の祝日（月曜日と国民の祝日が重なった場合はその翌日）、毎月月末、12月28日から翌年1月4日まで。
- ・ 館外貸出……萩市民および萩市内に通勤、通学する人に1人3冊、2週間以内（ただし小学生以下は1週間）

○所蔵資料（昭和52年3月31日現在）

一般図書 54,341冊

児童図書 3,345点（紙芝居を含む）

○利用状況（昭和51年度、開館日数277日）

	一般・学生			小学生以下			合計	萩市民 100人 当り	1日 当り 貸出数
	男	女	計	男	女	計			
貸出登録者数	1,051	1,498	2,549	723	1,015	1,738	4,286	8.1	
貸出冊数	15,212	21,443	36,655	12,546	20,692	33,238	69,893	131.7	252.3

○貸出文庫 6か所 延37回 合計1,263冊

○子どもの会（まい月第1土曜日午後2時30分から1時間程度、その他臨時に開催することもあり）延11回 参加人数 合計698人

○講座 「子どもの本を読む会第1期絵本」延5回 参加人員延120名

○展覧会 「本が語る歴史」10月27日～11月10日

3 郷土博物館

昭和34年8月29日、従来の科学博物館に人文部門の資料を加えて、現在地に開館する。

昭和42年9月に5mドーム並びに15cm屈折赤道儀を設置し現在に至る。

主要展示資料

	説	明
産業室	萩市の産業について模型で解説	
歴史室	萩付近の考古資料、萩藩の藩政資料展示	
民俗室	萩付近の民具および生活に供されたものの展示	
博物1室	萩付近の昆虫、貝類、植物、岩石、鉱物などを展示	
博物2室	萩付近の鳥獣、珍しい海獣標本など展示	
維新資料展示室	維新資料の展示、または特別展示場	
屋上ドーム	天体観測	
野外展示場	萩付近の自生木本類約200点および岩石園、石造物の展示	

主要行事

特別展覧会

年度	名称	期間	入場者数	会場
47	萩の今昔展	7.1～8.3	3,041人	市民館展示室
47	古萩名品展（共催）	10.7～10.13	6,306	“
47	萩藩の人々「肖像画展」	10.22～11.5	2,178	“
48	坂時存展	11.3～11.18	2,245	“
49	泥谷文景展	6.22～6.26	1,976	“
50	大照院宝物展	9.27～10.1	2,120	“
50	小倉四賢遺墨展	11.1～11.5	2,670	“
51	御座備と武人画展	5.29～6.6	757	“
51	萩の廻り100年関係資料展	11.28～12.5	536	“

科学展覧会

回数	年度	期間	入場者数	会場
20	47	9.29～10.2	1,492人	市民館小ホール
21	48	9.21～9.24	1,673	“
22	49	10.18～10.21	1,962	“
23	50	10.17～10.20	1,785	医療会館
24	51	10.21～10.24	1,589	市民館講義室

歴史講座

6月から10月迄の第2・4水曜日、夜7時から2時間程度、主に郷土史の学習を行なう。

期 講	年 度	回 数	申 込 者 数
1・1	45	年 10 回	104 人
1・2	46	年 10 回	105 人
1・3	47	年 10 回	59 人
2・1	48	年 10 回	134 人
2・2	49	年 10 回	156 人
2・3	50	年 10 回	95 人
2・4	51	年 10 回	89 人

星の会

毎週木曜日、午後7時半から2時間程度

年度	観測回数 (年間、晴天時)	参加人員	講義回数 (年間、晴天以外)	参加人員
47	31	526	21	325
48	32	536	20	365
49	30	580	22	348
50	20	417	31	509
51	18	364	34	421

主要所蔵資料

歴史資料……木戸孝允関係資料、山本勉弥氏寄贈古銭・藩札・陶器・出土陶片資料、維新資料など

郷土美術資料……雲谷派絵画および能筆家の書など

民俗資料……萩城下および萩付近の武家・町家・農業・漁業関係の資料

考古資料……大井地区・見島ジーコンボ古墳出土品など

博物資料……田中市郎氏寄贈剝製標本、山口県北部地方植物および標本・貝類標本など

理工資料……科学史料・天体写真資料・一般理工資料など

開館日数及び入館者数

年度	開館日数	入館者数	一日平均入館者数
47	299	17,215	58
48	296	20,338	69
49	294	24,131	82
50	298	29,748	100
51	295	25,330	86

4 松陰遺墨展示館

松陰先生殉難百年祭(昭和34年)を記念して建設され、同年8月27日に開館した。

利用

○開館時間 8時30分～17時

○入館料

	個人	団体(30名以上)
大人	50 円	30 円
高校生	30 円	20 円
小人	20 円	10 円

○休館日 12月28日～1月3日

○収蔵品の展示資料 121点

○昭和51年度入館者数 96,137人

5 市民館

市民の生活文化の向上と福祉の増進をはかるため、明治維新百年を記念して建設され、昭和43年10月に開館した。

以来各種団体、機関をはじめ、市内一般住民はもちろん北浦における文化センターとして、広域にわたって公衆の利用に供され、その役割を果たしてきた。

今では、音楽、舞踊、演劇等の舞台芸術をはじめ、各種の大会、会議等の諸行事には必要欠くべからざる施設としてますます利用度は高くなっている。

市民館利用状況

(昭和51年度)

	大ホール	小ホール	第1会議室	第2会議室	第3会議室
使用日数	179	326	283	239	236
使用件数	188	160	137	188	176

	講義室	実習室	第1和室	第2和室	第3和室
使用日数	341	129	12	337	147
使用件数	597	129	10	523	141

	第4和室	結婚式場	維新資料展示室
使用日数	207	16	306
使用件数	221	16	13

③ 文化財保護

毛利氏36万石の城下町の形態や当時の古い建造物、明治維新前後の史跡など、萩市は数多くの文化財を保存している。

歴史的、学術的または芸術的な価値のあるこれらのすぐれた文化財は、萩市の宝であり市民の誇りでもある。祖先が残した文化財を大切に保護保存し、後世に継承してゆくことは、われわれ市民の責務である。

文化財の保護活用は萩市発展のためにも重要なことであり、国、県、市の指定文化財については補助事業により、文化財の保存、修理、修景につとめ、また萩市文化財保護条例、萩市伝統的建造物群保存地区保存条例並びに萩市歴史的景観保存条例を制定し、歴史的景観の保存整備につとめている。

昭和47～51年度文化財保護主要事業

(単位 千円)

年度	事業名	事業費	財源内訳			
			国庫	県費	市費	その他
47	見島ウシ産地保護増殖事業	1,600	800	400	400	
	萩城跡環境整備事業	4,160	2,913	624	624	
	旧周布家長屋門保存修理事業	15,470	7,735	3,867	3,868	
	史跡保存用地買上げ事業(萩城跡)	22,900	16,030	3,435	3,435	
	史跡保存用地買上げ事業(萩城下町)	14,940	9,870	2,115	2,955	
	東光寺防災施設事業	1,500	1,050	225		225
	長寿寺防災施設事業	260		130	90	40
	小川家長屋門屋根修理事業	2,000			1,700	300
	歴史的景観地区保存修理事業	1,793			1,351	442
	48	見島ウシ産地保護増殖事業	2,400	1,200	600	600
史跡保存用地買上げ事業(萩城跡)		20,050	16,040	2,005	2,005	
史跡反射炉土地買上げ事業		1,250	1,000	125	125	
史跡萩城下町保存修理事業(高杉晋作旧宅)		2,650	1,855	397	200	198
史跡萩城跡防災施設事業(旧周布家長屋門)		1,000	500	250	250	
明神池環境整備事業		12,692	6,000	3,000	3,692	
萩城下町環境整備事業		5,000	2,500	1,250	1,250	
花の江茶亭補修工事		1,250			1,250	
歴史的景観地区保存修理事業		4,640			2,910	1,730
重要文化財太刀光房保存修理事業		500	325	87	53	35
49	重要文化財東光寺防災施設事業	10,000	7,000	1,500		1,500
	見島ウシ産地保護増殖事業	4,000	2,000	1,000	1,000	
	史跡保存用地買上げ事業(萩城跡)	34,600	27,680	3,460	3,460	
	史跡萩反射炉保存修理事業	4,200	2,100	1,050	1,050	
	史跡萩城跡環境整備事業(内堀渡瀬)	16,000	8,000	4,000	4,000	
	旧福原家萩屋敷門復元事業	3,006		1,503	1,503	
	旧毛利別邸表門復元事業	3,600			3,600	

年度	事業名	事業費	財源内訳			
			国庫	県費	市費	その他
49	天然記念物明神池渡瀬土取除き事業	4,000			4,000	
	史跡萩城跡詰丸東屋補修事業	350			350	
	史跡野山獄周囲堀補修事業	540			540	
	史跡明倫館水練池保護柵設置事業	300			300	
	史跡女台場環境整備事業	110			110	
	文化財パトロール事業	86		43	43	
	萩市歴史的景観保存地区補助金	2,004			2,004	
50	見島ウシ産地保護増殖事業	4,000	2,000	1,000	1,000	
	史跡保存用地買上げ事業(萩城跡)	40,840	32,672	4,084	4,084	
	史跡萩反射炉保存修理事業	3,000	1,500	750	750	
	史跡萩城跡環境整備事業(内堀渡瀬)	10,000	5,000	2,500	2,500	
	見島のカメ生息地保護増殖事業	1,000	500	250	250	
	史跡伊藤博文旧宅防災施設事業	1,000	500	250	250	
	重要文化財東光寺大雄宝殿外3棟蟻害防除事業	800	400	200		200
	史跡環境整備事業(旧厚狭毛利長屋外5件)	630			630	
	史跡指定地域保存事業補助金	104			104	
	萩市歴史的景観保存地区補助金	1,583			1,209	374
51	見島ウシ産地保護増殖地区補助金	4,000	2,000	1,000	1,000	
	史跡保存用地買上げ事業(萩城跡)	18,800	15,040	1,120	2,640	
	史跡萩反射炉保存修理事業	3,000	1,500	750	750	
	史跡萩城跡環境整備事業(内堀渡瀬)	7,000	3,500	1,750	1,750	
	史跡伊藤博文旧宅防災施設事業	5,000	2,500	1,250	1,250	
	天然記念物見島ウシ産地土地買上げ	8,500	6,800	850	850	
	天然記念物明神池緊急調査費	1,200	600	300	300	
	重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	19,160	9,342	3,114	6,704	
	玉木文之進旧宅保存修理事業	5,000			5,000	
	重要文化財口羽家住宅保存修理事業	16,000	15,200	400	200	200
	史跡指定地域保存事業補助金	1,048			870	178
	萩市歴史的景観保存地区補助金	2,490			1,802	688

7. 社会教育

萩市民が、市民生活の中で、各種の体育、スポーツ活動を楽しむことによって、健康や体力の増進をはかり、新しい時代にふさわしい心身ともに明るく豊かな健康生活の推進を期する。

(1) 市民スポーツ活動総参加の推進

各地区を母体として、市民スポーツ総参加運動および県民スポーツ総参加運動の推進により、地区スポーツ活動の充実をはかる。

行事活動から常時活動へ(地区スポーツクラブの育成)

① 推進事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○一般スポーツ教室 ○少年スポーツ教室 ○地区球技大会 ○地区運動会 ○地区インディアカ大会 ○市主催関係行事 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">スポーツクラブの育成</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">スポーツ少年団の育成</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">スポーツ活動への意欲づけ</div>
② 組織および指導体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○地区スポーツ振興会の結成と充実 ○設置地区の積極的活動と未設置地区の設置につとめる。 ○体育指導員、県民スポーツ総参加推進委員の効率的活動 	
② 体育、スポーツ施設、設備の整備と効率的活用	<ul style="list-style-type: none"> ○明倫屋外運動場夜間照明施設の新設とその活用に努める。 ○学校体育施設の開放 	
③ 指導者資質の向上および組織の充実、研修会	<ul style="list-style-type: none"> ○体育指導委員研修会 ○県民スポーツ総参加運動推進委員研修会 	
④ 競技スポーツの強化	<ul style="list-style-type: none"> ○体育協会種目別団体活動の強化 	
⑤ 広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツだより 市報「はぎ」の活用 	
8. 社会同和教育計画		
(1) 基本方針	<p>国および県の同和対策審議会の答申の主旨にもとづいて人間尊重の精神を基盤とする正しい人権意識を確立し不合理な部落差別の実態を正しくは握するとともにこの差別を取除く実践力を身につけるため市民共通の課題として同和問題の解決を積極的にとりくみ真の民主主義の実現に努める。</p>	
(2) 努力事項	<p>① 社会同和教育推進体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○同和教育推進委員会活動を強化し、社会同和教育の推進態勢をはかる。 ○同和教育指導者の養成活用につとめ、社会同和教育の推進をはかる。 <p>② 市民に対する同和教育の浸透をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種社会教育関係団体、主としてP、T、A及び婦人団体をとおして同和教育の浸透をはかる。 ○各種学級、講座等において同和教育の計画的に位置づけることにより同和教育の浸透をはかる。 ○広報活動を中心に市民に対する同和教育の浸透をはかる。 <p>③ 同和地区住民の自主的学習の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○同和地区住民の自主的学習を援助し、生活、文化向上に努める。 	

社会同和教育推進事業

区分	事業名、学級講座名	対象	事業内容	時間数
地域でのとりくみ	<ul style="list-style-type: none"> ◎一般啓発事業 ○社会同和教育推進委員会 ○団体役員同和教育研修会 ○各種団体（青年、婦人、PTA等）同和教育研修会 	市民	<ul style="list-style-type: none"> ◎同和教育推進について 1.同和対策特別措置の再確認 2.正しい部落の歴史と同和観の確立 3.差別の実態 4.同和教育の実践活動 5.同和教育資料の活用 	年間
公民館でのとりくみ	<ul style="list-style-type: none"> ○青年学級、教室 ○婦人学級 ○家庭教育学級 ○高令者教室 	各学級生	<p>各種学級講座の中で同和を課題としてほりさげ実践活動をすすめる。</p> <p>青年学級5学級、婦人学級21学級、家庭教育学級6学級、高令者教室5学級</p>	月1回
	白水家庭教育学級	地区と周辺地区の人	<p>同和地区と周辺地区のPTAによる家庭教育学級の開設（同和教育の課題を正しくとらえ同和問題解決の実践的態度育成）</p>	月1回
同和地区内でのとりくみ	玉三集会所指導事業	地区民全体	<ul style="list-style-type: none"> 地区婦人文化活動 地区青年文化活動 成人教養講座 町内集会活動 部落問題交歓研修会 	年間315
	同和教育指導者養成	町内会、婦人会、子ども会、青年団指導	<p>県、市教委その他関係団体が行なう講習会、研修会等に積極的に参加させ同和地区の指導者を養成する。</p>	
	玉三、子ども会	子ども会	<p>同和地区の子ども会員により、レクリエーション、奉仕、体育等を通じ子ども会を育成する。</p>	月3回
	玉三学力向上学級	地区の小四年生以上中学生	<p>同和地区児童・生徒の学習意欲を高め学力を向上することを目的として、学級を開設する。</p>	年間200

V 資 料

1. 学校教育施設

(1) 市立学校一覧

小 学 校

区 分	教 室 数			校 地 積 面 積	校 舎 面 積			屋 体 積 面 積	プ ール 設 置	学 校 給 食 の 型
	普 通	特 別	そ の 他 室		木 造	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト	計			
明 倫	52	6	3	32,183	7,751		7,751	1,328	○	完 全
椿 東	25	7	2	23,642	112	4,849	3,965	809	○	"
越ヶ浜	13	3	3	15,308	2,035		2,035	○ 265	○	"
椿 西	8	5	3	11,513	167	1,830	1,997	○ 377	○	"
白 水	13	4	3	11,699	54	2,249	2,303	540		"
木 間	4	2	1	2,926	648		648	○ 174		"
三 見	12	4	3	7,539	415	1,463	1,878	451		"
大 井	12	3	3	7,644	1,887		1,887	506		"
大 島	7	4	2	6,447	99	1,531	1,630	○ 399		"
相 島	3	0	0	2,546	315		315	0		"
見 島	10	5	2	11,889	168	1,643	1,811	422		"

中 学 校

区 分	教 室 数			校 地 積 面 積	校 舎 面 積			屋 体 積 面 積	プ ール 設 置	学 校 給 食 の 型
	普 通	特 別	そ の 他 室		木 造	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト	計			
一 中	26	12	3	27,389	2,716	2,326	5,042	968		完 全
明 経	11	8	4	13,943	2,635	247	2,882	714		"
指 月	14	6	3	15,194	2,405		2,405	466		"
越ヶ浜	6	6	2	4,962	1,311	144	1,455	395		"
木 間	3	0	1	1,689	265		265			"
三 見	6	5	2	7,366	1,729		1,729	394		"
大 井	6	6	2	22,114	1,481		1,481	501		"
大 島	4	4	2	6,637	1,144		1,144	○ 84		"
相 島	4	3	1	2,421	537		537			"
見 島	6	3	3	11,029	507	523	1,030	○ 366		"

屋体面積の○印は木造建

(2) 県立学校

高等学校

学 校 名	所 在 地	電 話	創 立 年 月 日	校 長 名	教 員 数	学 級 数	生 徒 数	備 考
萩 高 等 学 校	堀内132	②0076	S 25. 4. 1	河本開一	73	24	1,047	
萩 工 業 高 等 学 校	平安古町544	②0034	S 40. 4. 1	国重 寛	62	16	612	
萩 商 業 高 等 学 校	江向475	②0232	S 40. 4. 1	山崎六男	40	12	509	

(3) 私立学校

大 学

学 校 名	所 在 地	電 話	創 立 年 月 日	学 長 名	職 員 数	学 生 数	備 考
萩 女 子 短 期 大 学	椿東4515	②3331	S 42. 1. 23	大隅信幸	25	120	

萩光塩学院

学 校 名	所 在 地	電 話	創 立 年 月 日	校 長 名	教 員 数	学 級 数	生 徒 数	備 考
萩 光 塩 学 院 高 等 部	東田町15	②0782	S 26. 1. 19	斉藤恭子	45	15	644	
萩 光 塩 学 院 中 等 部	"	"	"	"	3	3	42	
萩 光 塩 学 院 初 等 部	"	"	S 30. 3.	"	11	6	161	

幼 稚 園

園 名	学 級 数	園 児 数				教 員 数	園 長 名	所 在 地	電 話
		3 才	4 才	5 才	計				
萩 幼 稚 園	8	30	126	132	288	11	林 精	西田町17	② 0775
萩 光 塩 幼 稚 園	10	64	155	163	382	10	斉藤恭子	東田町15	② 0782

社会福祉法人 ふたば園 (通園施設)

部 別	学 級 数	児童数なら びに成人数	教員ならび に職員数	園 長 名	所 在 地	電 話
幼 児 部	1	7	15	岡 寿	河 添	② 5092
児 童 部	3	19		同 上	同 上	② 5092
成 人 部		25	6	同 上	同 上	② 9717

(4) 学校寄宿舎 (明和寮)

名 称	所 在 地	電 話	敷地面積	建物面積	構 造	定 員	開設年月日
明 和 寮	浜崎町 21	⑤ 1099	1,420 m ²	861 m ²	鉄筋コンク リート 2階	40 人	S 40.4.1

(5) 教 員 住 宅

区 分	棟 数	戸 数	建 物 面 積
見島小・中学校	10	15	613 m ²
相島小・中学校	5	6	241
大島小・中学校	7	10	419
木間小・中学校	3	5	241
明倫小学校	1	1	123
指月中学校	1	1	146

2. 社会教育施設

1) 公 民 館

館 名	所 在 地	対 照 人 口	取 得 年 月	独立・併置 の 別	構 造	延 面 積
中央公民館	萩市江向3区	43,516	S 40. 10	⑤ 市民館	鉄・平	453 m ²
大井公民館	萩市大井庄屋	3,410	S 47. 7	⑤ 出張所	鉄・二	670
三見公民館	萩市三見石丸	2,656	S 30. 3	⑤ 出張所	木・二	292
見島公民館	萩市見島本村	2,190	S 42. 9	⑤ 支 所	鉄・二	136
大島公民館	萩市大島常村	1,305	S 30. 7	⑤ 出張所	木・二	100

(2) 博 物 館

館 名	所 在 地	電 話	敷 地 面 積	建 物 面 積	構 造	所 蔵 資 料	開 館 年 月 日	備 考
萩市郷土 博物館	江向 525	⑤ 3131	1,239 m ²	780 m ²	木造モ ルタル	30,000	S 34. 8.30	他に市民館内 に維新資料展 示室 (208.11 m ²) あり

(3) 松陰遺墨展示館

館 名	所 在 地	電 話	建 物 面 積	構 造	展 示 資 料	開 館 年 月 日
松陰遺墨展示館	椿東 1538 (松陰 神社内)	⑤ 2410	130 m ²	鉄筋コンク リート平屋建	吉田松陰遺墨伝 説資料等	S 34.8.27

(4) 図 書 館

館 名	所 在 地	電 話	敷 地 面 積	建 物 面 積	構 造	施 設 内 容	開 館 年 月 日
萩市立図書館	江向 552	⑤ 3131	5,250 m ²	1,320 m ²	鉄骨コン クリート	・一般閲覧室 ・子ども室 ・第2閲覧室 ・学生室 ・視聴覚室 ・集会室	S 49.9.26

3. 社会体育施設

施設名	所在地	利用件数	運営	建設年月日	施設概要
市民球場	江向553	350	教委保健体育課	昭31.10	・敷地面積14,619㎡ ・グラウンド面積9,587㎡ ・収容人員13,000人
球技場	江向552	300	〃	昭33.4	・敷地面積3,154㎡ ・テニスコート4面
武道館	江向552	350	〃	昭50.1	・敷地面積792㎡ ・建物面積612.86㎡ ・柔道場306.43㎡(畳96枚) ・剣道場306.43㎡ ・シャワー室 ・控室 ・ロッカー室
弓道場	江向552	24	〃	昭52.1	・敷地面積180㎡ ・建物面積147.17㎡ ・控室 ・ロッカー室

4. 文化施設

市民館

館名	所在地	電話	敷地面積	建物面積	駐車場	構造	開館年月日	施設内容
市民館	江向495の4	⑤1234	9,999㎡	3,797㎡	1,150㎡	鉄筋コンクリート一部鉄骨造り平屋建	43.10.5	(下記)

室名	収容人員	面積	室名	収容人員	面積	室名	収容人員	面積
大ホール (内車椅子専用席)	1,300 (5)	1,358㎡	レストラン	70	148㎡	第4和室		8畳
小ホール	120~ 240	206	講義室	50	87	事務室応接室		58㎡
ロビー		697	実習室	36	58	管理人室		10畳
第1会議室	45	75	結婚式場	30	87	教材倉庫		29㎡
第2会議室	45	75	第1和室		6畳	機械室		360〃
第3会議室	30	75	第2和室		10〃	シャワー室		10〃
維新資料展示室		188	第3和室		6〃	便所		116〃

5. 指定文化財一覧

国指定					
重要文化財(17)					
種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者
建造物	常念寺表門 付、棟札一枚	1棟	昭28.9.17	下五間町	常念寺
建造物	東光寺総門	1棟	昭41.6.11	椎原	東光寺
建造物	東光寺三門 付、棟札一枚	1棟	昭41.6.11	椎原	東光寺
建造物	東光寺大雄宝殿 付、棟札三枚	1棟	昭41.6.11	椎原	東光寺
建造物	東光寺鐘楼	1棟	昭41.6.11	椎原	東光寺
建造物	旧厚狭毛利家萩屋敷長屋 付、棟札一枚	1棟	昭41.6.11	堀内	萩市
建造物	菊屋家住宅 主屋、本蔵、金蔵、米蔵、釜 場付、土塀二棟、古図一枚	5棟	昭49.5.21	呉服町	菊屋嘉十郎
建造物	熊谷家住宅 主屋、離れ座敷、本蔵、宝蔵	4棟	昭49.5.21	今魚店町	熊谷美術館
建造物	口羽家住宅 主屋、表門	2棟	昭49.5.21	堀内	口羽良通
絵画	絹本着色春冬山水図 載文進筆	2幅	昭31.6.28	呉服町	菊屋嘉十郎
彫刻	木造 聖観音立像	1軀	昭25.8.9	沖原	南明寺
彫刻	木造 千手観音立像	1軀	昭25.8.9	沖原	南明寺
彫刻	木造 赤童子立像	1軀	昭25.8.9	青海	大照院
工芸品	太刀 銘延吉 付、絲巻太刀拵	1口	昭25.8.9	堀内	志都岐山神社
工芸品	太刀 銘光房 付、革包太刀拵	1口	昭25.8.9	堀内	志都岐山神社
書跡	熊谷家文書	13巻 (225通)	昭48.6.6	土原	熊谷正雄
書跡	雪峯東山空和尚外集	1冊	昭49.6.8	中津江	龍蔵寺

重要無形文化財(1)

種別	名称	指定年月日	保持者の住所	保持者の氏名
工芸技術	萩焼	昭45.4.25	舟津	三輪休和

史跡・名勝・天然記念物(15)

種別	名称	指定年月日	所在地	管理団体 または所有者
史跡	松下村塾	大11.10.12	椎原	松陰神社
史跡	吉田松陰幽囚旧宅	大11.10.12	椎原	松陰神社
史跡	萩反射炉	大13.12.9	前小畑	萩市
史跡	明倫館水練池および有備館付 明倫館碑	昭4.12.17 地域追加 昭24.7.13	江向	萩市
史跡	木戸孝允旧宅	昭7.3.25	呉服町	萩市
史跡	伊藤博文旧宅	昭7.3.25	椎原	萩市
史跡	旧萩藩御船倉	昭11.12.16 地域一部解除 昭37.11.10	東浜崎町	萩市
史跡	萩城跡	昭26.6.9 地域追加 昭42.1.10 地域追加 昭52.4.27	堀内・北片河町 平安古町	萩市
史跡	萩城城下町	昭42.1.10	呉服町 南古萩町	萩市
天然記念物	明神池	大13.12.9	越ヶ浜	萩市
天然記念物	笠山コウライダチバナ自生地	大15.2.24	越ヶ浜	萩市
天然記念物	見島ウシ産地	昭3.9.20	見島	萩市
天然記念物	見島カメ生息地	昭3.9.20	見島	萩市
天然記念物	木部の大センタン	昭13.12.14	沖原	萩市
天然記念物	指月山	昭46.3.16	堀内	萩市

国選定

重要伝統的建造物群保存地区(2)

種別	名称	指定年月日	所在地	面積
伝統的建造物群保存地区	萩市堀内地区伝統的建造物群保存地区	昭51.9.4	堀内	約70.3ヘクタール
伝統的建造物群保存地区	萩市平安古地区伝統的建造物群保存地区	昭51.9.4	平安古	約3.9ヘクタール

県指定

有形文化財(11)

種類	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者
建造物	萩学校教員室	1棟	昭44.12.5	堀内	萩高等学校
建造物	長寿寺十三重塔	1基	昭48.10.19	北古萩	長寿寺
建造物	旧福原家萩屋敷門	1棟	昭49.11.8	堀内	萩市
建造物	大照院庫裡	1棟	昭50.3.22	青海	大照院
絵画	尼子経久画像	1幅	昭49.11.8	土原	末岡みつ子
絵画	尼子晴久画像	1幅	昭49.11.8	土原	末岡みつ子
彫刻	木造釈迦如来座像	1軀	昭41.6.10	青海	大照院
彫刻	木造不動明王立像	1軀	昭41.6.10	北古萩町	長寿寺
書跡	東光寺 木柱額 29対と1枚 榜牌3 同下書19	40枚	昭48.3.30	椎原	東光寺
書跡	東光寺 三祖師号	3幅	昭48.3.30	椎原	東光寺
書跡	石屏子介禅師墨蹟	1幅	昭50.3.22	中津江	龍蔵寺

無形文化財(3)

種別	名称	指定年月日	保持者の住所	保持者の氏名
芸能	住吉神社「お船謡」	昭43.4.5	浜崎町	住吉神社お船謡保存会
工芸技術	萩焼	昭47.6.6	無田ヶ原	三輪休雪
工芸技術	萩焼	昭50.3.22	中の倉	坂高麗左衛門

史跡・名勝・天然記念物(2)

種別	名称	指定年月日	所在地	所有者
史跡	かきがき坂老里塚	昭52.3.29	笠屋	楊井健弘
天然記念物	河内の大ムク	昭41.6.10	河内	田村甲作

市指定

有形文化財(21)

種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者
建造物	旧周布家長屋門	1棟	昭37.1.11	堀内	萩市
建造物	平安橋	1基	昭37.1.11	平安古町	萩市
建造物	問田益田氏旧宅土塀	1棟	昭37.12.24	堀内	山田正次
建造物	花月桜	1棟	昭39.8.21	椎原	松陰神社
建造物	大照院鐘楼門	1棟	昭42.12.25	青海	大照院
建造物	大照院経蔵	1棟	昭42.12.25	青海	大照院
建造物	福原家書院	1棟	昭42.12.25	堀内	志都岐山神社
建造物	小川家長屋門	1棟	昭46.3.26	土原	小川佳三

種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者
建造物	龍藏寺観音堂	1棟	昭46. 3.26	中津江	龍藏寺
建造物	明倫館遺構南門	1棟	昭48. 2.13	西田町	本願寺萩別院
建造物	明倫館遺構観徳門	1棟	昭48. 2.13	西田町	本願寺萩別院
建造物	明倫館遺構聖廟	1棟	昭48. 2.13	北古萩町	海潮寺
建造物	明倫館遺構万歳橋	1基	昭48. 2.13	堀内	志都岐山神社
建造物	花江茶亭	1棟	昭48. 2.13	堀内	萩市
建造物	端坊鐘楼	1棟	昭49. 3.23	恵美須町	端坊
建造物	円政寺内金毘羅社殿 附石鳥居・山門・石灯籠	1棟	昭51. 6.10	南古萩	円政寺
彫刻	木造薬師如来座像	1軀	昭46. 3.26	松本市	広蔵寺
工芸品	讚岐坊梵鐘	1口	昭48. 2.13	見島	讚岐坊
工芸品	見島八幡宮鯛口	1口	昭48. 2.13	見島	見島神社
工芸品	端坊梵鐘	1口	昭49. 3.23	恵美須町	端坊
工芸品	不動明王立像	1軀	昭51. 6.10	沖原	南明寺

無形文化財(4)

種別	名称	指定年月日	保持者の住所	保持者の氏名
芸能	玉江浦「天狗拍子」	昭37. 12. 24	玉江浦	天狗拍子保存会
芸能	木間「神代の舞」	昭37. 12. 24	木間	神代舞保存会
芸能	越ヶ浜「巫女の舞」	昭46. 3. 26	越ヶ浜	越ヶ浜郷土芸能保存会
芸能	越ヶ浜「大綱声」	昭46. 3. 26	越ヶ浜	越ヶ浜郷土芸能保存会

史跡・名称・天然記念物(12)

種別	名称	指定年月日	所在地	管理団体または所有者
史跡	萩城下街割原標石	昭37. 1. 11	江向	萩市
史跡	村田清風別宅跡	昭37. 12. 24	平安古町	萩市
史跡	玉木文之進旧宅	昭39. 3. 28	椎原	萩市
史跡	大井円光寺穴観音古墳	昭46. 3. 26	大井	田中一久
史跡	八橋検校の碑	昭46. 3. 26	香川津	赤崎神社
史跡	吉田松陰の墓ならびに墓所	昭47. 2. 9	椎原	杉丙三
史跡	小倉四賢墓所	昭47. 2. 9	大屋	萩市
史跡	見島ジーコンボ古墳群	昭47. 2. 9	見島	萩市
史跡	菊ヶ浜土塁(女台場)	昭48. 2. 13	今魚店町	萩市
史跡	野山獄、岩倉獄跡	昭48. 7. 31	今古萩町	萩市吉田惣一郎外7名
天然記念物	大照院の大フジ	昭37. 1. 11	青海	大照院
天然記念物	指月山のミカドアゲハ	昭37. 1. 11	堀内	萩市



椿東小完成写真



同上内部



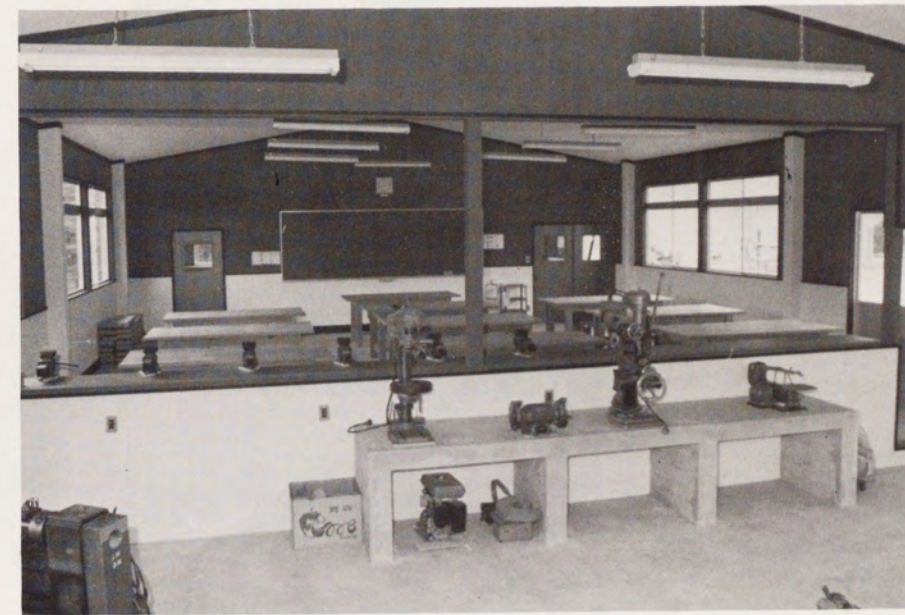
白水小屋内運動場外部



大井中技術科教室外部



同上内部



同上内部



武家屋敷長屋

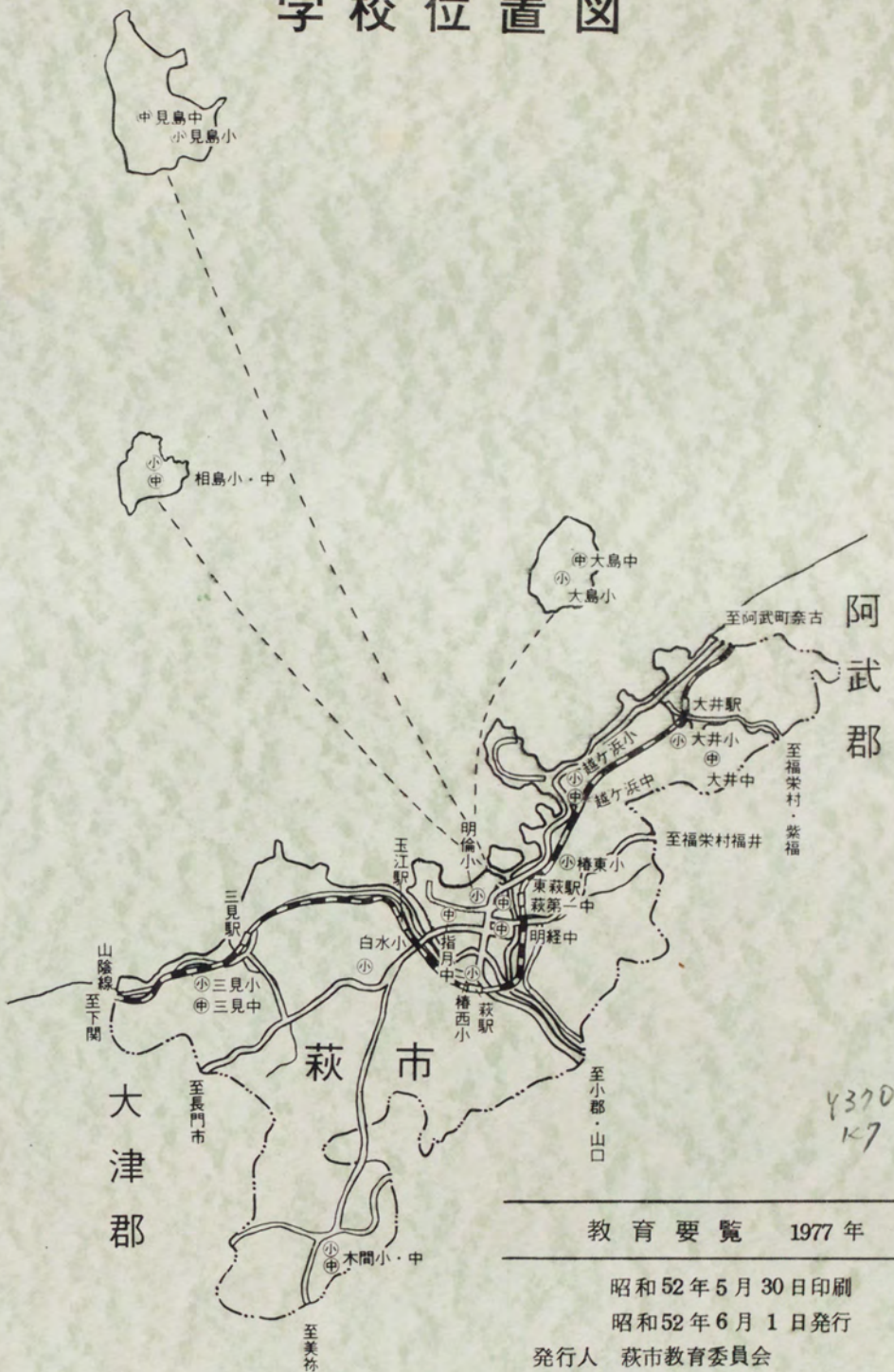


旧梨羽家書院



弓道場

学校位置図



教育要覧 1977年

昭和52年5月30日印刷
 昭和52年6月1日発行
 発行人 萩市教育委員会
 (萩市江向510)
 印刷所 桜プリント企業組合萩支店
 (萩市御許町46)

